

6月の祭典行事について

熱田神宮宮庁総務課 名古屋市熱田区神宮1-1-1
Tel 052(671)4153 Fax 052(681)0538 URL <http://www.atsutajingu.or.jp>

井戸をのぞいて成育祈願

高座結御子神社例祭

6月1日(金)
正午

高座結御子神社(境外摂社) 祭典・神事

「虫封じ」「井戸のぞき」で知られ、子育ての神様として信仰が篤い高座結御子神社の例祭を行います。

我が子の無事成育を祈って子供に井戸をのぞかせたり、巫子の振る鈴でお祓いを受けたりする親子づれのほほえましい姿が境内一円で見受けられます。

○前日(5月31日)午後5時の宵宮祭から、参道には露店が軒を連ねます。



神恩に感謝し、国家の安泰を祈る

例祭(「熱田まつり」・「尚武(しょうぶ)祭」)

6月5日(火)
午前10:00

本宮・別宮・摂末社 祭典・神事

例祭は「熱田まつり」「尚武祭」とも言われ、当神宮の恒例祭典中最も重要かつ荘厳なお祭りです。総代・崇敬者をはじめ各界の代表者等が参列する中、勅使(天皇陛下のお使い)ご参向のもと祭典を執行、皇室の弥栄・国家の隆昌を祈ります。夕刻から各門に奉飾する献灯まきわらや1,000発にも及ぶ打上げ花火は、初夏を彩る風物詩です。

○神賑の奉納行事として献灯まきわらや花火、弓道・柔道・剣道・相撲・演芸・俳句・献書の各大会、近郊の各町内からは子供獅子・まきわらみこし等の奉納、尾張新次郎太鼓や熱田神楽の奉納演奏等が行われます。



献茶祭

6月5日(火)
午前10:30

神楽殿 祭典・神事

崇敬者・茶道愛好家等約200人が参列する中、松尾流 松尾宗典宗匠が奉仕して、濃茶・薄茶を神前に供え御神慮を和め奉ると共に、斯道の繁栄を祈願致します。

○拝服席11:30~13:00
協賛席10:00~15:00
【濃茶】表千家吉田生風庵 【薄茶】武者小路千家



献花式

6月5日(火)
午後2:00

神楽殿 行事

崇敬者・花道愛好家等約100人が参列する中、日本生花司松月堂古流 木村喜峰氏が奉仕して生花を神前に供え、御神慮を和め奉ると共に、斯道の繁栄を祈願致します。

○よもぎ花道会会員による各流派の献花が境内花席及び神楽殿祈願者待合所内の臨時花席で行われます。



優雅な田舞を奉奏

御田神社御田植祭

6月18日(月)
午前10:00

御田神社 祭典・神事

境内の摂社御田神社で五穀豊穰を祈るお祭りを行います。ご神前には齋田に植える玉苗が供えられ、陪従(べいじゅう)の歌う田歌に合わせて、芙蓉(ふよう)のかざしをつけた当神宮の巫子が早乙女に扮し、古式ゆかしい田舞を奉奏します。



お氷上さんのお田植祭

因高齋田御田植祭

6月24日(日)
午前10:00

因高齋田(氷上姉子神社) 祭典・神事

緑区大高町に鎮座する摂社氷上姉子神社の境内にある齋田で、五穀豊穰を祈るお祭りを行います。水玉模様の着物に身をつつみ、手甲・脚半・菅笠をつけた早乙女が、田植歌にあわせ田舞を舞い、橙色の装束をつけた男性奉耕者の介添えで、手さばきも鮮やかに早苗を齋田に植えつけます。

○早乙女は例年なごや農協大高支店の職員並なごや農協女性部の方々にご奉仕をいただいています。



罪や穢を祓いに祓って	6月30日(土)	
	午後3:00	
大祓(おおはらえ)	本宮拝殿前	祭典・神事

この儀式は、人間本来の清く正しく明るい心を取り戻し充実した生活を営むため、自己にふりかかった罪穢を祓い去るもので、6月末と12月末の年2回行われています。斎竹を立て注連縄を張りめぐらした中で、当神宮職員をはじめ崇敬者が多数参列して行われます。



熱田神宮宝物展 6月展	6月1日(金)~6月26日(火)	
	宝物館	宝物展示
コーナー展示「神宝」		

我々人間に「衣・食・住」が必要であるように、古来、遷宮(遷座)に際し、御祭神のために装束や調度品が調製されてきました。これを「御装束神宝」と称します。6月のコーナー展では、8代将軍足利義政寄進と伝えられる重要文化財の古神宝類や、貞享3年のご造営に際し5代将軍徳川綱吉が寄進した古神宝類、また伊勢の神宮より下附された古神宝類等、約80点を展示致します。

○【入館料】 ・大人300円(250円)、小中学生150円(100円)
()内は20名以上の団体料金。入館は午後4時10分まで。

